

桑名間税会だより
第29号
発行
平成24年1月25日
編集責任者: 青山茂孝

年頭のごあいさつ



名古屋国税局 課税第二部長 永田 寛幸

平成24年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
桑名間税会の会員の皆様方には、平素から会活動を通じ、税務行政全般にわたりまして深いご理解と格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近の税務行政を取り巻く環境は、少子・高齢化の急速な進展や経済のグローバル化・IT化に伴う社会経済の急激な変化に加え、東日本大震災の影響などにより、様々な課題が生じております。このような環境の中で、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する。」という国税組織に与えられた使命を着実に果たすためには、国民の皆様から理解と信頼を得ることが重要であると考えています。

このため、税務行政の運営に当たっては、納税者の皆様から正しい申告と納税が行なえるよう必要な税務情報や法令などに関する情報提供を充実させるとともに、「e-Tax（国税電子申告・納税システム）」をはじめとするITを活用した利便性の高い申告・納税手段を提供するほか、税務署の受付窓口を一本化したワンストップサービスを実施しております。

また、適正・公平な税務行政を推進する観点から、税務コンプライアンスの維持向上を図りつつ、厳正な調査・徴収にも取り組んでいます。

中でも、「e-Tax」につきましては、より多くの方々にご利用いただくため、普及拡大に重点を置き取り組んでまいりました。今後は、昨年8月に決定された「新たなオンライン利用に関する計画」に基づき、更なるサービスの品質向上にも重点を置いて、一層の普及定着に向け取り組んでいく

こととしていきます。

ところで、税はより良い社会を築き、国を運営する上で、おいて欠くべからざるものであるとともに、皆様方の生活や経済活動に密接に係るものです。

間税会におかれましては、これまでも消費税についての啓発・広報活動をはじめ間接税を中心とした税制や執行への改善提言並びに「e-Tax」の利用拡大など、様々な事業活動を展開してこられました。

新しい年におきましても、会員の輪を更に広げられ、間税会結成の基本理念に沿った魅力ある事業活動を数多く展開していただき、私どもにも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、昨年発生した東日本大震災において被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を切に願っております。

新しい年、平成24年が皆様及びご家族にとりまして幸せ多き年でありますよう心から祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



桑名税務署長 深瀬 智明

新年あけましておめでとうございます。
平成24年の新春を迎え、桑名間税会の皆様に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

早いもので、桑名税務署への着任以来、半年が経ちました。この間、私も、「税の標語」の表彰式や理事会に出席させていただきました。青山会長をはじめ役員並びに会員の皆様方の熱心な取組を肌で感じる事ができ、大変心強く感じております。

ところで、平成23年を振り返りますと、3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に未曾有の被害をもたらし、引き続き発生した原子力発電所の事故や電力不足の危惧などが国民生活や経済活動に大きな影響を与えました。被災された方々に対しまして、改めてお見舞い申し上げますとともに、被災地の1日も早い復旧・復興を心から願

っております。

さて、このような中、我が国の経済情勢は、サブプライチエーンを立て直しや各種の政策効果などを背景に、景気を持ち直しの動きが見られるものの、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、回復力の弱まっている海外景気の下振れや為替レート・株価の変動もあり、景気の先行きは、依然、不透明な状況にあります。

翻って、私どもの使命はどのような状況にあつても、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことであり、この使命を果たすためには、国民の皆様から理解と信頼を得ることが重要であると考えております。

このため、税務行政を運営するにあたり、①納税者の皆様が申告・納税を「簡単・便利・スムーズ」に行うことができるように、サービスの充実を図ること、②納税者の権利利益の保護を図りつつ、適正な調査・徴収を行うこと、③税務当局の様々な取組を分かりやすくお知らせするとともに、各種施策の実施結果の評価・検証を踏まえ、税務行政を改善することなどを基本的な考え方として取り組んでいます。

特に、「e-Tax（国税電子申告・納税システム）」については、納税者の皆様にとって申告・納税の利便性の向上というサービスを高め、また、業務コストの効率化に資するものであることから、「e-Tax」の普及定着は私どもにとつては、最重要課題の一つであり、積極的に取り組んでいるところで

です。
桑名間税会の皆様には、既に「e-Tax」の利用拡大に向け、様々なご協力をいただいているところではあります。更なる利用拡大に向けまして、引き続きご協力をよろしくお願いたします。

最後になりますが、桑名間税会の更なるご発展と、新しい平成24年が皆様にとつて希望の多い充実した年となりますことを祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。



桑名税務署管内 中学生「税の標語」

平成23年11月12日

本年2年目となる、中学生「税の標語」。税を考える週間に桑名市民会館ホールで実施されています。桑名法人会の「子ども税金クイズ大会」の中で、入賞された中学生の表彰を行いました。

昨年は応募数が少し少なかったこともあり、本年は募集範囲を中学生全般に広げ、応募の活動も早めにしたおかげで、600点弱の応募を頂き、学校のご協力を強く感じることが出来ました。入賞作品は左記の通りです。

2011 税の標語・入賞作品

桑名税務署長賞

桑名市立 光風中学校 加藤 雅人 支え合う 心をかたちに 消費税

桑名間税会長賞

いなべ市立 北勢中学校 美濃部 勇志 税担う 福祉や医療 よい未来

三重県間税会連合会長賞

いなべ市立 藤原中学校 岡 竜大 税金は 社会を支える 大黒柱

桑名間税会優秀賞

桑名市立 明正中学校	阿部 佑介	健やかな 未来を作る 皆の税
桑名市立 陵成中学校	宇佐美 日苗	たくさんの 知識の中に 税のこと
いなべ市立 北勢中学校	東松 愛奈	身の周り みんなの税が 使われている
桑名市立 光風中学校	西嶋 佳那子	震災も 支えてゆこう みんなの税
いなべ市立 北勢中学校	川瀬 あみ	税金で 安心できる 街づくり
桑名市立 明正中学校	中津川 葵	国民の 明るい未来 担う税

桑名法人会との合同企画で 企業見学・研修視察旅行

平成23年10月13日

当会の森田好博顧問は桑名法人会で現在会長を、後藤繁夫前会長は副会長、他にも多数の当会の会員が桑名法人会での役職を仰せつかっています。その桑名法人会の強いご希望で今回は合同企画と相成った。

当日集まった参加者の顔ぶれ、開けてびっくり我々間税会メンバー数は桑名法人会を圧倒！。青山会長の表情を緩ませるほど、間税会の仲間意識の強さを確かに感じたところです。

2台のバスは、法人会・間税会に分かれて、一路中部国際空港セントレアに向けて出発しました。間税会バスは何時もの和やかな雰囲気でありましたが、そこは研修、社中では間税会の最近の恒例である「税の標語」作成の時間、10個作るノルマに四苦八苦。おかげで、あつと言う間にバスはセントレア到着となりました。



で識別された専用のプレートぶら下げて、いざ見学コースに突入。途中で何度もプレートかざしての見学は始めての体験でした。本来なら入国や出国の手続きがないと入れない施設内を裏から表まで見学できた貴重な経験でした。

見学を終えた後は、知多半島の超有名飲食店「まるは食堂」のりんくう店での懇親会。でかいエビフライのイメージで脳内分泌は満杯でしたが、出てきたのは海老・蟹・刺身などの宴会料理・・・で腹一杯となりました。

税連協・ボーリング大会

平成23年11月24日

一昔前、桑名には六華苑近くのリバーサイドボールと桑名市役所の近くにあったボーリング場（名前はど忘れしました）がありました。そんなボーリング場が全盛であった40年以上前、ボーリングに明け暮れた55歳以上の方々が沢山います。間税会チームは、そんなボーリング世代中心に今回も大活躍していただきました。



会長の参戦記

久しぶりにボーリングを楽しみました。（20年ぶりかな？）結果は他のメンバーが優秀で団体2位（控え目が良い）スコアは平均200ぐらい。私青山（大学時代ボーリング同好会所属）と南部宏人君（上手くない）、佐藤輝幸君（遊びは全て上手、個人賞の3位）、薫田靖夫君（堅いまずまず）、水谷真奈美さん（一番上手、個人賞の2位）この様なメンバーで参加しました。

とても楽しく、素晴らしい成績に本当に満足した大会でした。その後の反省会もとても楽しく有意義な時間を過ごす事が出来ました。

設営をして頂きました桑名法人会の森田会長様、事務局のお二人に感謝を申し上げます。

税を考える週間 街頭宣伝活動

平成23年11月10日

税を考える週間の恒例の事業「桑名税務連絡協議会の街頭宣伝活動」に、桑名間税会からは、青山会長・後藤女性部長・伊藤（正）総務委員長が参加してまいりました。

